

校長あいさつ

「夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」の具現化に向けて

校長 大井 敏彰

正門両脇の満開の桜に迎えられ、令和7年度がスタートしました。今年は164名の新入生を迎え入れ、全生徒数484名、17学級でスタートしました。

私はこの4月に校長として着任しました **大井 敏彰（おおいとしあき）**です。この第四中学校を4年間けん引された 鮫島 弘樹 前校長から校長の襷を引き継ぎました。この第四中学校の伝統や業績を継承しつつ、さらに発展していけるよう、保護者、地域の皆様の御支援と御協力をいただきながら、教職員一丸となって、日々の教育活動を推進してまいります。

さて、本校では学校教育目標『夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校』の具現化に向けて、「自ら学ぶ生徒・心豊かな生徒・たくましい生徒」の育成に努めます。これらを踏まえ、目指す学校像として次に示す3つを柱として教育活動を推進してまいります。

○必要な資質や能力を、確実に身に付けられる学校

グランドデザインで示したように、本校で必要であるとする「生徒に身に付けさせたい資質や能力」を8つに整理し、目指す教師像と目指す生徒像との整合性を図りました。そうすることで、教師の指導と生徒の成長に一貫性をもたせるようにしました。（1）～（6）を3つの学力、（7）を豊かな心、（8）を健康な心と体として、四中生の資質・能力をバランスよく育んでまいります。

○保護者や地域の期待に応え、信頼される学校

保護者が「子供を四中に通わせてよかった」、地域が「四中生は頼りになる」と感じてもらえるよう、保護者、地域との関わりを大切にしていきます。そこで得た保護者・地域からの信頼を本校の教育活動のさらなる充実に還元できるよう、努めてまいります。また、来年は第四中学校が開校してから50年目を迎えます。記念事業など、できることを検討してまいります。

○教職員が誇りと働き甲斐を持って勤められる学校

今、教職員は「働き方改革」や「部活動の地域展開」など、様々な変革が求められる中、日々の教育活動にあたっています。社会全体を含め、変化が大きく先行きが不透明な時代ですが、学校生活における生徒一人一人の成長には、教職員が生徒たちのロールモデルとして生き生きと働くことが必要不可欠であると考えます。教職員が誇りとやりがいをもって勤められるよう、環境を整えてまいります。

これらの教育活動の様子は、学校ホームページで随時発信していく予定ですので、本校の雰囲気を感じ取りながら、ご理解をいただければと存じます。

1年間、よろしくお願いいたします。

